

報道関係各位

2026 年 9 月 14 日

アライドアーキテクツ株式会社

アライドアーキテクツ、日本企業の暗号資産「SOL」活用を支援するプロジェクト 「JapanSOL」を Dawn Labs と共同で開始

AX の力で企業成長を実現するアライドアーキテクツ株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役会長:田中 裕志、証券コード:6081、以下「当社」)は、ブロックチェーン「ソラナ(Solana)」に特化した技術企業である Dawn Labs(ドーン・ラボズ、運営会社:CHAIN TEC LAB - FZCO)と共同で、日本企業による暗号資産 SOL(ソラナブロックチェーン上のネイティブトークン)の保有と活用を支援するプロジェクト「JapanSOL」を開始したことをお知らせします。



**Allied
Architects**



Dawn Labs



日本企業の暗号資産「SOL」活用
を支援する **「JapanSOL」**

アライドアーキテクツとDawn Labsが共同で開始

なお、本プロジェクト「JapanSOL」の運営および本取り組みにおける自社財務資産(トレジャリー)の運用は、アライドアーキテクツの 100%子会社であるシンガポール法人 Allied Verse Pte. Ltd.(以下「アライドバース」)が行うものであり、当社自身がそれらの運営・運用を行うものではありません。

■前提となる仕組み:ステーキングと「預り証」型の運用

暗号資産 SOL には、保有する資産をブロックチェーンのネットワーク運営に参加させる形で預け入れ、その対価として報酬を受け取れる「ステーキング」という仕組みがあります。預け入れられた資産は、取引の正しさを確認しネットワークを維持する事業者(バリデータ=検証者)に委任されます。

一方で、通常のステーキングでは、預けている間はその資産を売却したり、他の用途に使ったりすることができません。この制約を解消するのが「リキッドステーキング(流動性を保ったステーキング)」です。SOL を預けると、預けた事実と価値を表す「預り証」の役割を果たすデジタル資産(今回の「JapanSOL」)を受け取ります。預り証は自由に移転・売買・担保利用ができるため、報酬の受け取りと資産の活用を両立できます。なお、預けた SOL に積み上がる報酬は、JapanSOL 1 枚と交換できる SOL の数量が少しずつ増えていく形で反映される設計です。

■ japanSOL について

japanSOL は、ソラナ上でこうした預り証型デジタル資産の発行・交換を専門に担う基盤「Sanctum（サンクタム）」の仕組みを用いてスマートコントラクトにより発行されるもので、Dawn Labs はそのプールの設定・運用とバリデータの運用を担います。

- ・ 預け入れられた SOL はバリデータに委任され、報酬が積み上がります。
- ・ 本プロジェクトには、japanSOL の委任先となるバリデータを運営する企業が参画しています（以下「参加企業」）。参加企業がバリデータ運営者として受け取る報酬の一部をプールに拠出し、japanSOL の保有者全体に還元する設計を採用しており、通常のステーキングと比べた利回りの向上を図ります。※還元の実施時期・規模は参加企業との合意に基づき、保証されるものではありません。
- ・ 預け入れ・引き出し・移転はすべてブロックチェーン上で実行され、資産の管理権は保有者自身が保持します。当社や運営者が利用者の資産をお預かりするものではありません。

名称	japanSOL
ネットワーク	ソラナ
プール運営	Dawn Labs（発行基盤：Sanctum）
預入残高(TVL)	7,813.65 SOL（2026 年 9 月 14 日時点）
保有者数	13 名

※運用による報酬（利回り）は市況およびネットワークの状況により変動します。最新の状況は

<https://japansol.com/> をご覧ください。

■ 大手取引基盤「Jupiter（ジュピター）」の貸借サービスへの対応

ソラナ上で最大級の取引・貸借サービスを運営する Jupiter の貸借サービス「Jupiter Lend（ジュピター・レンド）」において、japanSOL を担保とした借入れが可能になりました。「Multiply（マルチプライ）」と呼ばれる機能を使うと、japanSOL を担保に SOL を借入れ、さらに japanSOL を取得する、てこの原理のように元手以上の金額を運用する手法（レバレッジ運用）を自動で行えます。この手法は運用の効率を高める一方、損失や、担保が強制的に処分される「清算」のリスクも同じだけ拡大します（後記「リスク・注意事項」をご参照ください）。

■ 2 社の役割

アライドアーキテクト	アライドバースを通じた自社財務資産（トレジャリー）による運用の実証、日本企業への提供に向けた道筋の模索
Dawn Labs	japanSOL のプール運用、技術基盤の設計、バリデータの運用

■ 背景と今後

世界では、上場企業が暗号資産を財務資産として保有し、さらに運用して収益源とする動きが広がっています。一方、日本企業がこうした運用に取り組むには、技術の理解、資産の安全な管理、会計・税務・法務の確認など、越えるべきハードルが数多くあります。

当社は、アライドバースを通じてこれらのハードルを一つずつ確認し、法令遵守のもと、日本企業がソラナを活用した財務運用に取り組むための道筋を模索してまいります。あわせて 2 社は、国内暗号資産取引所での取り扱いに向けた協議や、ソラナ上の主要サービスとの連携拡大を進めてまいります。

■ リスク・注意事項

- ・ 本リリースは情報提供を目的としたものであり、特定の金融商品や暗号資産の取得・運用を勧誘するものではありません。
- ・ 当社およびアライドバースは、japanSOL の販売、取得の勧誘または媒介を行うものではありません。
- ・ 暗号資産は価格変動が大きく、保有・預入資産の価値が取得時を下回る（元本を毀損する）可能性があります。
- ・ 運用による報酬（利回り）は変動し、将来の運用成果を保証するものではありません。
- ・ Multiply を含むレバレッジ運用は、利益だけでなく損失も拡大させます。japanSOL と SOL の価格差の拡大、借入金利の上昇、担保評価の変更などにより、担保が強制的に処分（清算）され、預け入れた資産を失う可能性があります。
- ・ 記載の各サービス（Sanctum、Jupiter 等）は第三者が提供するものであり、当社はその稼働や安全性を保証しません。プログラムの不具合等により資産を失う可能性があります。
- ・ 記載の数値は 2026 年 9 月 14 日時点のものです。

<Sanctum とは>

Sanctum は、ソラナ上の預り証型デジタル資産の発行・流動性基盤です。

ウェブサイト: <https://www.sanctum.so/>

<Jupiter とは>

Jupiter は、ソラナ上で最大級の取引・貸借サービスです。

ウェブサイト: <https://jup.ag/>

<Dawn Labs とは>

Dawn Labs は、ソラナチェーンに特化したバリデータ運用および資産運用技術支援を展開する企業です。独自の研究開発に基づき、常にネットワーク上位水準のパフォーマンスを維持するインフラを構築しており、国内外の企業へ技術支援を行っています。

- ・会社名：CHAIN TEC LAB – FZCO
- ・代表者：南雲 悠太郎
- ・所在地：Building A1, Dubai Digital Park, Dubai Silicon Oasis, Dubai, UAE
- ・URL：<https://www.dawnlabs.tech/>
- ・事業内容：ソラナバリデータ運用、資産運用技術支援

<Allied Verse Pte. Ltd. 会社概要>

- ・会社名：Allied Verse Pte. Ltd.
- ・代表者：中村 壮秀
- ・所在地：シンガポール共和国
- ・事業内容：デジタル資産運用事業（本取り組みに基づく運用の実施主体）
- ・資本関係：当社（アライドアーキテクツ株式会社）の連結子会社

＜アライドアーキテクト株式会社 会社概要＞

- ・代表者：代表取締役会長 田中 裕志
取締役社長 村岡 弥真人
- ・所在地：東京都渋谷区恵比寿一丁目 19-15 ウノサワ東急ビル 4 階
- ・URL：<https://www.aainc.co.jp>
- ・設立：2005 年 8 月 30 日
- ・事業内容：マーケティング AX 事業・資産 AX 事業

＜アライドアーキテクト株式会社とは＞

アライドアーキテクト株式会社は、従来の事業構造を AI 前提で再設計する AX (AI トランスフォーメーション) を推進し、企業の持続的な成長を実現する AX カンパニーです。

AI を活用したデータ×クリエイティブでマーケティングを変革する「マーケティング AX 事業」と、オンチェーン経済圏における AX を通じて資産価値の向上を目指す「資産 AX 事業」を展開しています。

2005 年の創業以来、6,000 社を超えるマーケティング支援実績と、UGC をはじめとする顧客の声データ資産、独自開発の SaaS・AI 技術を蓄積。戦略立案からクリエイティブ、運用、開発までを担うデジタル・AI 人材を結集し、自らを変革し続ける企画者・創造者の集団として、「世界中の人と企業の創造がめぐる社会」を目指して、挑み続けています。

* 本プレスリリースに記載している会社名および商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

【リリースに関するお問い合わせ先】

アライドアーキテクト株式会社 経営企画室 広報担当
TEL: 03-6408-2791 MAIL: press@aainc.co.jp